

第20回 2010日本フラワー&ガーデンショウ

3月26日(金)・27日(土)・28日(日) 幕張メッセ

シンボルフラワー「バラ」の 基礎知識 *ABC*



第2回 バラを手軽に栽培

通常5月に咲くバラの満開を、2カ月も早く見ることができる2010日本フラワー&ガーデンショウ。会場で実際に花を見て、好みの品種を選んで、庭や鉢に植えてみましょう。栽培のポイントをおさえ、便利な家庭園芸用の資材を活用すれば、手軽に気軽に栽培することができます。

- バラの苗
- 庭植え
- 鉢植え
- 庭植え・鉢植え共通の管理

バラの苗

苗は3通りの形体で販売されます。

● **大苗**：前年の秋または冬に接ぎ木され、秋まで育てられたもの。ポットに仮植えされた株が多く出回ります。通信販売では10月ごろからの休眠期、葉が無い状態でビニール袋に湿気をもたせて「裸苗」として送られます。店頭で販売されている苗を選ぶポイントは、枝が少なくとも2本以上あり、みずみずしいものを選ぶこと。枝にしわがよっているものは避けましょう。

● **新苗**：前年の秋または冬に接ぎ木されたものがポット入りで、4月から販売されます。葉がよく茂り枝がしっかりしているものを選びましょう。

● **鉢苗・ポット苗**：ポットや鉢に入っていて蕾がついたり開花している苗。周年販売されます。大輪種や中輪種の鉢苗のほか、さし木で育てたミニバラやミニの修景バラのポット苗があります。苗は、枝が伸びすぎたものより、しっかりと節間が詰まったものを選びましょう。

【苗の扱い】

大苗は接ぎ口のビニールテープをはがし、根先を少し整理、接ぎ口が表面にできる高さに調整して、根を四方に広げて植えつけます。裸苗の場合は植えつけ前に1~2時間ほど給水させることがポイントです。新苗は、接口の下をしっかり持って折らないようにし、巻いてあるビニールテープははがしません。小さめの鉢に植えて根が鉢底から見え始めたらもう一回り大きな鉢にそのまま植え替えるのが一般的です。なお鉢苗やポット苗は、生長期なのでそのままそとと抜いて、根鉢の底を少しほぐすくらいにして培養土に植えつけます。どのような場合でも植え付け時には、活力剤を使用すると活着を早めます。



新苗



大苗裸苗



さし木ポット苗

バラと草花の混植ガーデン
(ナエマなど)

庭 植 え

バラは種類が多いので、どんな風を楽しみたいかによって向いている品種が異なります。花の色彩や大きさとともに、庭植えの場合は樹形が大切です。適切な品種を選べば、後の管理がラクになります。

●アーチ：枝の伸びすぎないつるバラ、シュラブローズ、修景バラの一部

つるバラや、イングリッシュローズをはじめとするシュラブローズ、オールドローズの半つる性の品種が向いています。修景バラの半つる性の品種も大丈夫です。なお、枝が長く伸びすぎる品種は避けた方が、メンテナンスに手間をとりません。

●オベリスクやポール：シュラブローズ、ミニのつるバラ、修景バラの一部

あまり枝を長く伸ばさない品種が向いています。シュラブローズ、ミニのつるバラなどが最適です。修景バラの半つる性品種のうち、あまり枝が伸びない品種もOKです。

●大きな壁面・パーゴラなど：つるバラ、ランブラーローズ

つるバラや、ランブラーローズという枝を長く伸ばす系統が向いています。「ピエール ドゥ ロンサル」は自然に扇型に枝が広がるので、大き目の壁面には最適です。

●バラ花壇：ハイブリッド・ティーやフロリバンダなど木立性品種

バラだけで構成された花壇。木立性の品種が向いています。大きな花を楽しみたいのなら、ハイブリッド・ティー（四季咲き大輪種）、集団で植えてよさを発揮するフロリバンダ（四季咲き中輪房咲き種）系統が向いています。

●草花との混植ガーデン：シュラブローズ、オールドローズ、修景バラの一部

イングリッシュガーデンのように、バラと草花が咲き乱れる景観をつくりたい場合には、シュラブローズやオールドローズなどが向いています。病害虫に強いメンテナンスがラクな、「修景バラ」も良いでしょう。



壁面にはわせたつるバラ（イギリス・ブロードウェイ）



バラ花壇（ベッド）。フロリバンダのイントゥリーグ（手前の赤紫）、ゴールドバニー（中の黄色）など



バラと草花の混植ガーデン。オールドローズのコンテ ドゥ シャンボール（ピンク）とシュラブローズのレッドコート（赤）、ブルーキャットミント

【庭植えの植え方】

深さ40～50cm、幅40cmくらいの穴を掘り、堆肥など有機物をバケツ一杯くらい混ぜ、接ぎ口部分が土に少しかくれるくらいにして植えつけます。植えつけた後は、水をたっぷりと与えしっかり踏み固めて、根と土の間に隙間ができないようにすることが活着のポイントです。なおつるバラは、アーチやトレリス・フェンスなど構造物から30～40cmほど離して植えた方が、枝が内側に入り込まず、また株元からのシュート（長く伸びる新枝）が出やすくなります。

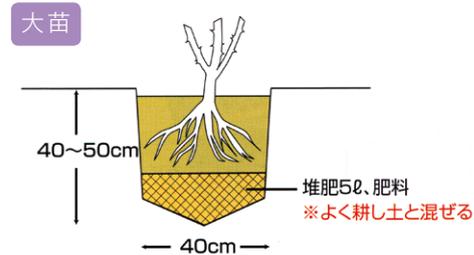
【庭植えの肥料】

バラは肥料を多く必要とします。植えつけ時、また冬～春先に、苗の周囲に油かす・骨粉などの有機質肥料を施しておきましょう。その後の追肥は適宜与えます。ばらまくタイプの粒状肥料が便利です。生長したモッコウバラやオールドローズなどには、肥料を与えると枝が伸びすぎるので与えません。

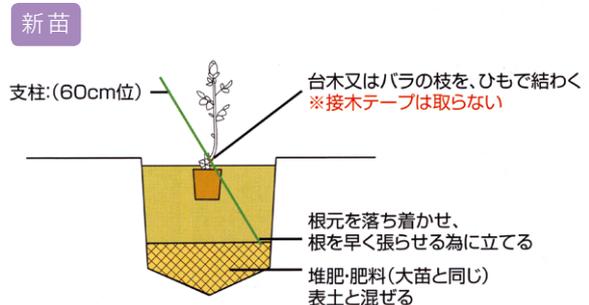
【草花との混植の場合のポイント】

草花と一緒に植える場合は、バラの株元から草花をできれば30～40cm離して植えつけます。梅雨時～夏のムレを防ぐため、5月の開花時点で咲き揃ったあと一年草は抜いてすっきりさせた方が良いでしょう。宿根草は根も大きく張ることが多いので、最初からバラと離して植えるか、春の開花後に整理します。

●庭の地面植え



- 接木部分が少し隠れる高さで植える。
- 土を戻したら水を充分やる。
水がひいたら水をやるのを2回くりかえす。
- 時期によっては防霜をする



草花はバラの株元より少し離して植えた方が良い。オールドローズのルイズ オーディエとジギタリスなど(イギリス・モティスフォント アビー)

鉢植え

どんなタイプのバラでも鉢植えに出来ます。ベランダや軒先で、またいろいろな品種を栽培して楽しみたい場合などに、移動も容易なので便利です。

●鉢

鉢は、極端な浅い鉢でなければ大丈夫ですが、一般には深さと高さと同じくらいのもを利用します。大きさは根鉢や、根の大きさよりやや大きめくらいがベターで、植えられているポットの深さくらいが目安です。ミニバラは5～6号から、中輪種は8号（直径24cm）を標準とします。株に対して小さめの鉢なら毎年晩秋～冬に植え替え、大き目の鉢なら2年に一回で良いでしょう。装飾性を高めるのならテラコッタ製のものを。プラスチック鉢だと機能的です。通気性に配慮された専用鉢もあります。

●用土と植えつけ

培養土は、市販の「バラの土」をそのまま利用するのもよいでしょう。配合は赤玉土主体のもの、堆肥主体など軽めのもなどさまざまです。ちょっと軽いと感じる場合は、赤玉土中粒を1～2割混ぜても良いでしょう。鉢底に防虫網と鉢底土、その上に苗を置いて植え付けます。大苗の根は周囲に広げて。新苗やポット苗は生長期なので、そのままそっとポットから抜き、根鉢の底を少しほぐすくらいで、そっと置きます。その後根と用土が密着するようはしなどでつつくか、両手の指で周囲を抑え、鉢底をストンと置いて、土を落ち着かせます。なお土が入る量は鉢の高さから1cmほどウォータースペースをとるようにします。また苗の接ぎ口は地植え同様、土に少しかくれるくらいにします。その後鉢底から流れ出るくらいたっぷりと水を与えます。

●植え替え

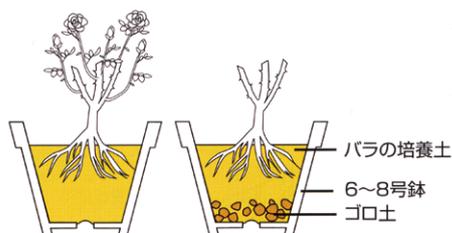
従来、「根の土は全部落として、根は切り詰めて」と言われていましたが、最近の傾向として植え替えにあたっては土が従来植わっていたものと極端に異ならなければ、ほかの植物同様に根鉢の周辺の土だけを落として植え替えることが主流になっています。秋の花が終わった10月下旬以降翌年3月くらいまでが適季です。葉や蕾がついたままでもかまいません。そのほかの季節に植えかえる場合は、根鉢を崩さないよう、そっと植え替えます。



輸入テラコッタ鉢に植えたイングリッシュローズのミス アリス

【苗の鉢植え】

大苗



※注意
鉢上げ後は水を充分与える。鉢底からにぎりかたれて澄んだ水が出るまで、引いてはかけを繰り返す。
霜があたらない所で管理又は保管する。

新苗



※注意
ビニールポットを抜き、鉢内の土は崩さずそのまま植える。
鉢上げ後、バラにはかからない様に水を充分やる。
鉢底からにぎりかたれて澄んだ水になるまで、引いてはかけを繰り返す。
接木テープは取らない。

●鉢植えの肥料

元肥：バラは四季咲を通じて、伸ばした枝の先に蕾をつけ花を咲かせるので、新しい枝を伸ばすために肥料は多めに必要です。従来、四季咲き大輪種の鉢栽培では「鉢植えには最初に肥料を入れない」とされてきましたが、最近は最初から土に混ぜ込んでも大丈夫なタイプの商品が充実してきました。元肥・追肥兼用の粒状の緩効性化成肥料や、有機質で完全発酵した粉状またはペレット状の肥料です。最初から所定量を土に混ぜ込んでおくと、後の肥料管理が楽になります。

追肥：特に鉢植えで枝を伸ばし花を継続して咲かせるのに、追肥は必要です。置肥と液肥、またその併用です。置肥には専用肥料として「バラの肥料」があります。化成肥料で長期間効く錠剤状の肥料や粒状の肥料、ペレットタイプの配合肥料などを、商品の説明書きにしたがって、春の一番花開花後から隔月間隔などで鉢の表面に置いておきます。液肥はバラ専用商品や草花にも使うタイプを、所定量を水でうすめて与えます。

株により力をつけて元気になりたいとき、また元気に育っている場合は緩効性の置肥と速効性の液肥を併用します。3月から蕾に色がみえはじめる4月いっぱいまで液肥を与えて枝の伸長を促したり、秋の最後の開花後に、カリ分が多い肥量を与えるなどです。要は、置肥なら花が終わって花がらを詰んだ後、すぐ肥料を効かせたい場合は液肥を、またゆっくり効く有機質肥料なら開花中からというように、効き方を理解して使うことが大切です。



丈夫でよく咲くミニの修景バラ・ハッピートレイルズ

【活力剤・土壌改良材の活用】

ほかの植物同様、植え替えや植え付け時に活力剤(材)を活用すると、バラはよく活着し不安がないだけでなく、生育の促進にもつながります。商品には二価鉄イオンを主成分としたもの、天然素材を使用したもの、また有用菌を利用し土中の雑菌に対して働きがあるものなど、さまざまなものがあります。またケイ酸塩白土を鉢底や培養土中に使用すると、雑菌を吸着し根ぐされ防止につながるだけでなく微量要素の補給の役目も果たします。

庭植え・鉢植え共通の管理

●病害虫の防除

バラの栽培で注意したいのは、アブラムシ、ハダニなどの害虫と、葉の表面が白くなるうどんこ病、黒い斑ができる黒星病などの病気です。鉢数が少ない場合や病害虫をみつけたらすぐ散布できて手軽なのは、「バラの害虫・病気に」などと表示された殺虫殺菌剤のハンドスプレータイプ・エアゾールタイプです。害虫駆除と病気予防が同時に行えます。異なる薬剤2種類ほど用意しておき、交互に散布するとよいでしょう。ハンドスプレータイプには、殺虫剤、殺菌剤だけのタイプもあります。アブラムシなどの殺虫には粒剤の浸透移行性の殺虫剤



黒星病

を土の表面に。効果が長続きします。またアンブルタイプで殺虫と肥料効果を併せ持つタイプもあります。鉢数が多い場合や庭など散布面積が広い場合は、殺虫剤、殺菌剤など専用薬剤を水でうすめて噴霧器で散布します。よく説明書きを読んで適切に使用しましょう。

●花がら摘み・剪定

庭植え、鉢植えに共通した管理です。花が終わったら花がら摘みを行うといつもきれいに花が見られます。また四季咲き性バラは伸びた枝の先に花をつけるので、切り戻しを行います。切り戻しは、いちばん力のある葉の上で。四季咲き品種はそこから枝がまた伸びて花を咲かせます。株元から伸びる新しい太い枝（ベークシュート）は、株のかたちをつくるのに大切な枝なので、できれば蕾がつく前に指先などでピンチします。また8月下旬～9月初旬に今年伸びた枝の先を葉のある上で半分くらいに剪定すると、秋10月にもう一度一斉に花を咲かせることができます。冬には、前年伸びた太めのシュートを約半分に剪定します。深く切れば太い枝が出て大きめの花が、浅めに切れば枝数が多くなり花の数は多くなります。

写真・図版協力：京成バラ園芸（株）、協力：New Roses

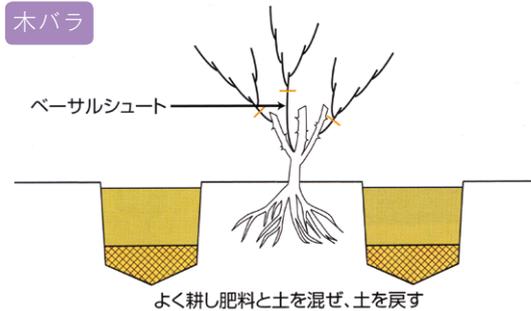
今回は「2010日本フラワー&ガーデンショーで見られるバラ」です。



バラ園に行くと、さまざまな品種が見られ、品種ごとに向いた仕立て方や栽培のさまざまなポイントを見つけることができる。写真は京成バラ園（千葉県八千代市）

【冬のせん定・寒肥】

木バラ



【夏のせん定（整枝）】

木バラ

